

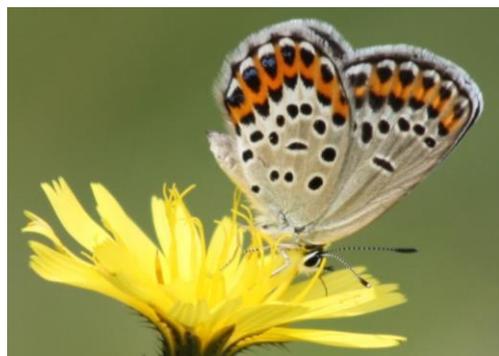
波田地域の希少な動植物の調査保護増殖活動と啓蒙活動

波田希少動植物保存会

波田希少動植物保存会は、波田の希少動植物の保護・保全活動に取り組むことによって、地域の自然を学び、守り、より良い保全方法の研究や伝達等が行われ、活動する人々の楽しい交流の場ともなり、若者や子ども達が郷土の自然に触れて、次の世代に引き継ぐ人々が出て来てくれる保存会を目指して活動しています。

【活動背景】

波田は自然豊かな地域でしたが、近年ホタルなどの水生動物やミヤマシジミ、ササユリなどが身近に見られなくなりました。カエルやトンボ類も激減し、それらを捕食する野鳥も減っています。生物多様性を維持するためには水生動物の保全は急務です。また、ヒメギフチョウやササユリは人の採取によっても数を減らしており、希少種であることを知っていただいたり、保全の方法も確立していかなければなりません。



【団体からのメッセージ】

JAC環境動物保護財団様には我々の活動をご理解いただき助成いただいたことに心から感謝申し上げます。保全活動は多岐にわたり、月日もかかり容易ではありません。高齢化も進み、地域の方々や行政にも協力いただき、若者を育て、皆で地道に活動を続けていけるように今後とも応援よろしくお願い致します。

【活動目的】

波田における希少野生動植物に注目し、その保護・保全に努める事によって、ひいては波田全体の自然や環境を守り、先人達によって培われてきた生物多様性のある美しい郷土の自然を次の世代に引き継いでいくことが目的です。

【助成金の用途・活動結果】

助成金は活動に必要な人件費や備品の購入、活動報告書作成費、カタクリ群生地案内看板の制作費などに充てられました。

23年度の活動では、ミヤマシジミの生息地を増やすために食草の手入れや、老木を選定しました。また、ホトケドジョウの数が増えるよう、天敵であるアメリカザリガニの駆除作業や池の浚渫工事も行い、地元企業の応援もあり、カタクリ群生地の駐車場整備や看板を設置し環境保護について啓蒙活動を行うことができました。

